

半切四分の一に書く(5)

締切り 五月二十四日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕心安體亦舒

※「體」は「体」の旧字体です。

〔解説〕

- ・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。
- ・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。
- ・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。
- ・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

- ▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。
- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕 尽く書つくしを信しんずれば 則すなわち書無しゆきに如しかず 孟子もうし

盡しゆ||尽しゆ 同字変化

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

◎草書の字形は筆路が大切です。書く前に目習いで連ペンのみちすじを学ぶことが上達の秘訣です。

おか だ りゅう ほう 書  
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお たに せい じょう 書  
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆6月課題予告(楷書)  
女性の直感はしばしば  
男性の傲慢な知識の  
自負をしのぐ
- ▼教範・書範||行草または草書
- ▼師範||行書

★とく尽とくく…(書体||行草または草書)  
孟子(前毛||前六七)  
中国・戦国時代の思想家  
その書に書かれていることすべてを鵜呑みにするならば、書物など最初から読まない方がましである、という意味です。  
人の考え方、物の見方は十人十色です。書物から得られることに自分の知識や経験を加えて、さらに深い考えと高めていきたいものです。

◆6月課題予告(行書)  
人間の運命は  
人間の手中にある  
サルトル

★隠れた…(書体||楷書)  
エラスムス(西六頃||一五六)  
オランダの人文学者  
「愚神礼讃」は、ラテン語で書かれた著書で、教会の形式化、聖職者の腐敗、銜学けんがく者などを風刺しています。  
本当に才能のある人は、決してそれを表面に出しません。能力のない人はかえって有名になろうとします。「能ある鷹は爪を隠す」が美徳といえましょう。

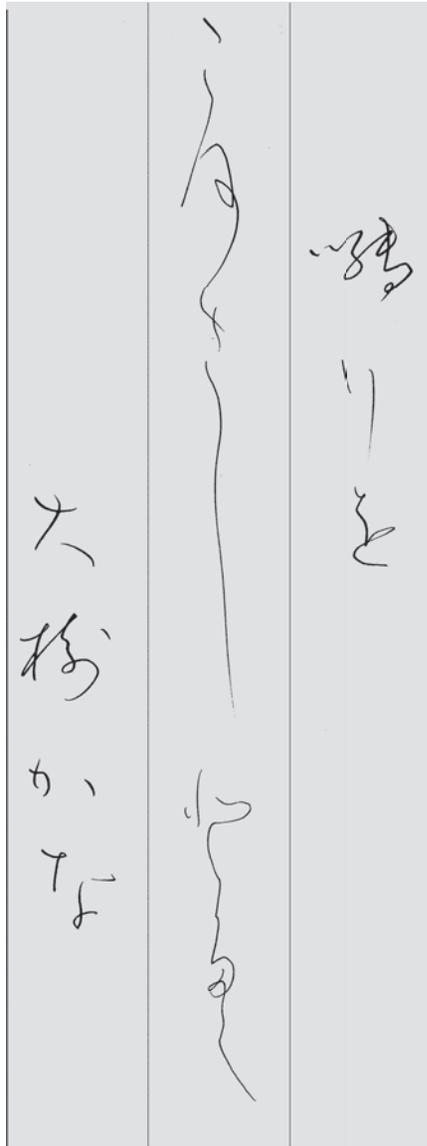
# 一般部かな課題

締切り 5月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

囀りをこぼさじと抱く大樹かな



囀りをこぼさじと抱く大樹かな

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

	こ	
	ぼ	さ
	じ	と
大	樹	か
な		
	抱	
	囀	り
	と	

おお みや しゅん ちょう  
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお みや しゅん ちょう  
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆6月課題予告

ぼうたんの百のゆるるは湯のやうに

(森 澄雄)

可か 久く 多た 登と 本ほ 保ほ

か 久 多 登 本 保

か 久 多 登 本 保

か 久 多 登 本 保

か 久 多 登 本 保

か 久 多 登 本 保

か 久 多 登 本 保

〔古筆参考〕

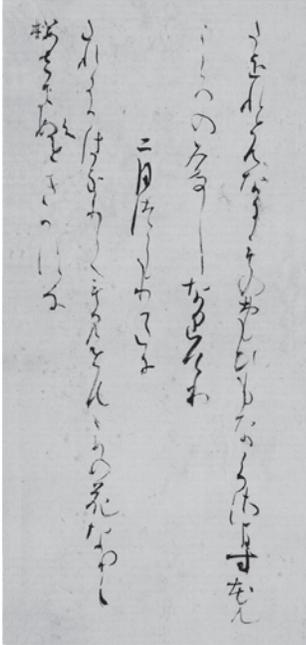
〔句意〕青々とした樹木に小鳥たちが飛びきたって、春のよるこびを語るかのように楽しげにしきりに囀っている。その鳴き声を包みこみ、一声も漏らすまいと、こんもりと生い茂る大樹である。

囀りをこぼさじと抱く大樹かな

(星野立子)

〔古筆参考〕

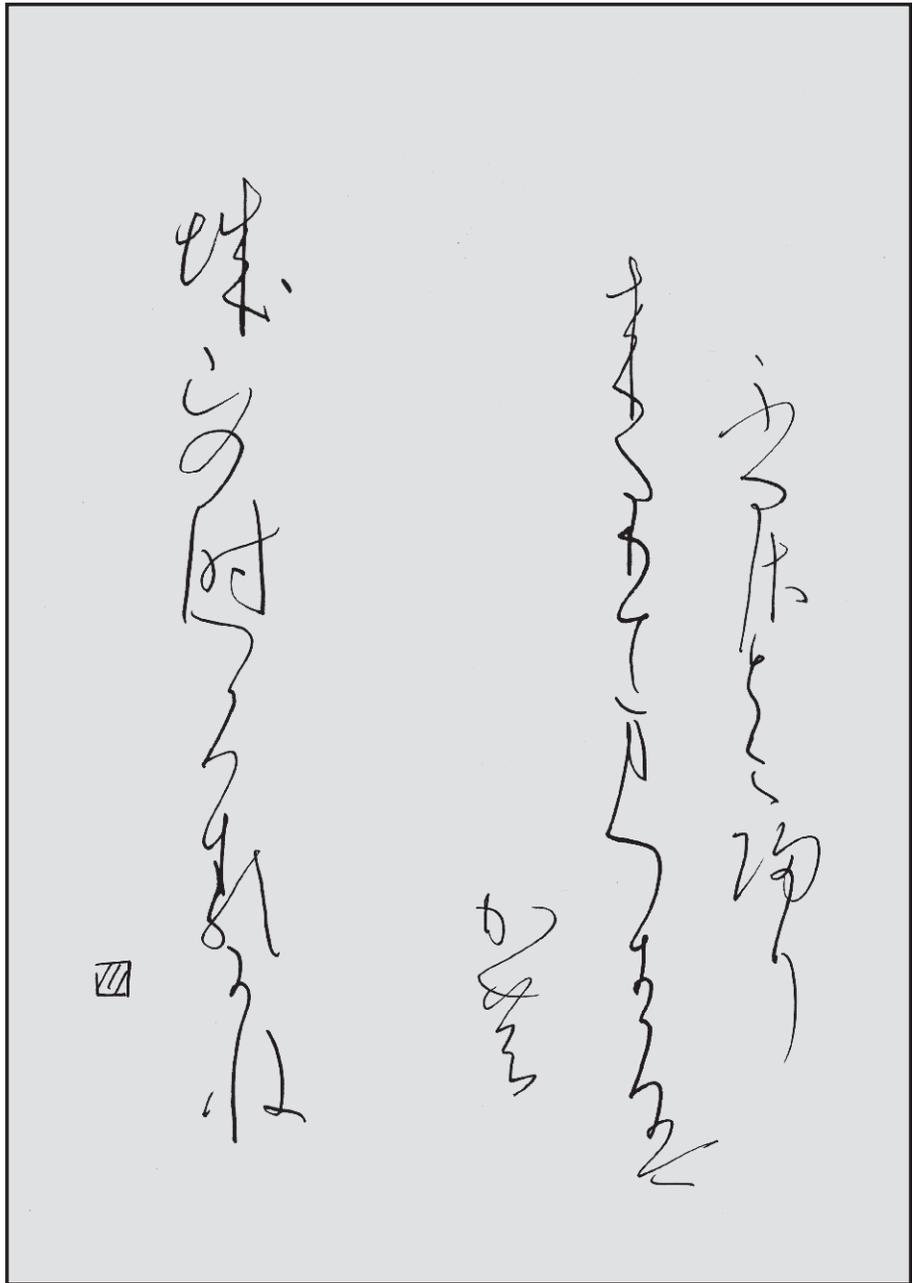
いずみしきぶぞくしゅうぎれ  
和泉式部続集切



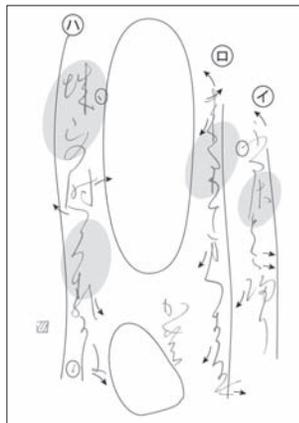
たをれどんなにものおもひもなぐさまず花も  
こころのみなしなりけり  
二月つごもりがたに  
たれにかはをりても見せむゝめの花なかく  
桜さきぬときかすな

締切り 五月二十四日(必着)

築瀬舟香書



〔解説〕



- ①と②、③と④、呼応。
- 行の中の密の動き大切。
- 〱の方向大切。
- 〇の場所・方向大切。
- 運筆のリズムを出す。
- 〇 大きな間大切。

〔歌意〕 故郷に帰って来てまず私が聞くのは、あのなつかしい城山の時を告げる鐘の音だ。  
〔出典〕 名歌即訳 若山牧水

◆6月課題予告

露干なば出でてあそばむあかつきの薄が原のかがやきを見よ

締切り 5月24日(必着)

予 告

来月は初めて「はがきの表書き」を学びます。

私のそばを離れなかった末娘が、今ではバイバイと笑顔で幼稚園に行きます。嬉しいやら寂しいやら複雑な気持ちです。時間に余裕ができたので、これからは女だけのランチタイムを楽しみましょう。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

◎手本は水性ボールペン使用

私のそばを離れなかった末娘が、  
今ではバイバイと笑顔で幼稚園に  
行きます。嬉しいやら寂しいやら  
複雑な気持ちです。時間に余裕が  
できたので、これからは女だけの  
ランチタイムを楽しみましょう。

横 書 き 課 題

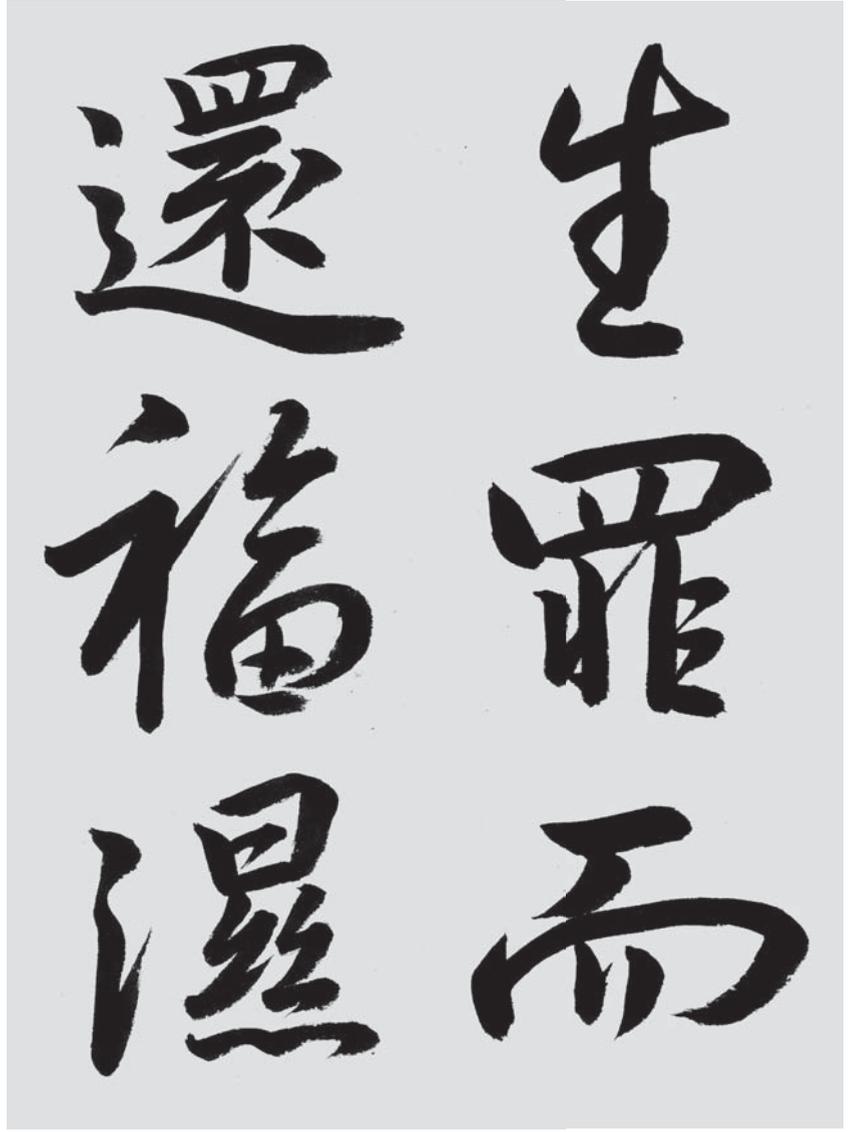
川端康成は、日本人として最初の  
ノーベル文学賞受賞作家である。  
広島県呉市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 5月24日(必着)

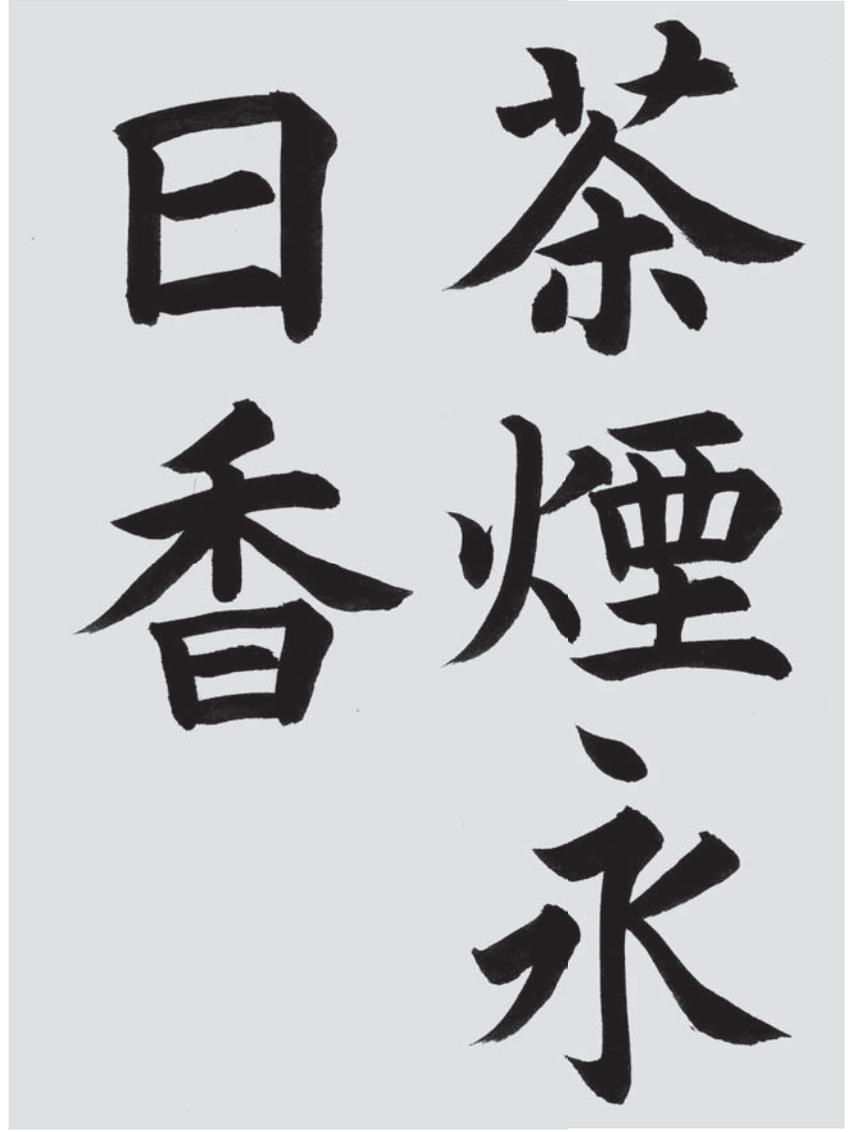
生  
罪  
而  
還  
福  
濕



準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕集字聖教序(672) 〔筆者〕王羲之法書より集字  
〔読み〕(蒼)生は罪せしるも福かえに還る。(火宅の乾焰かたく かんえんを)湿しめらせ



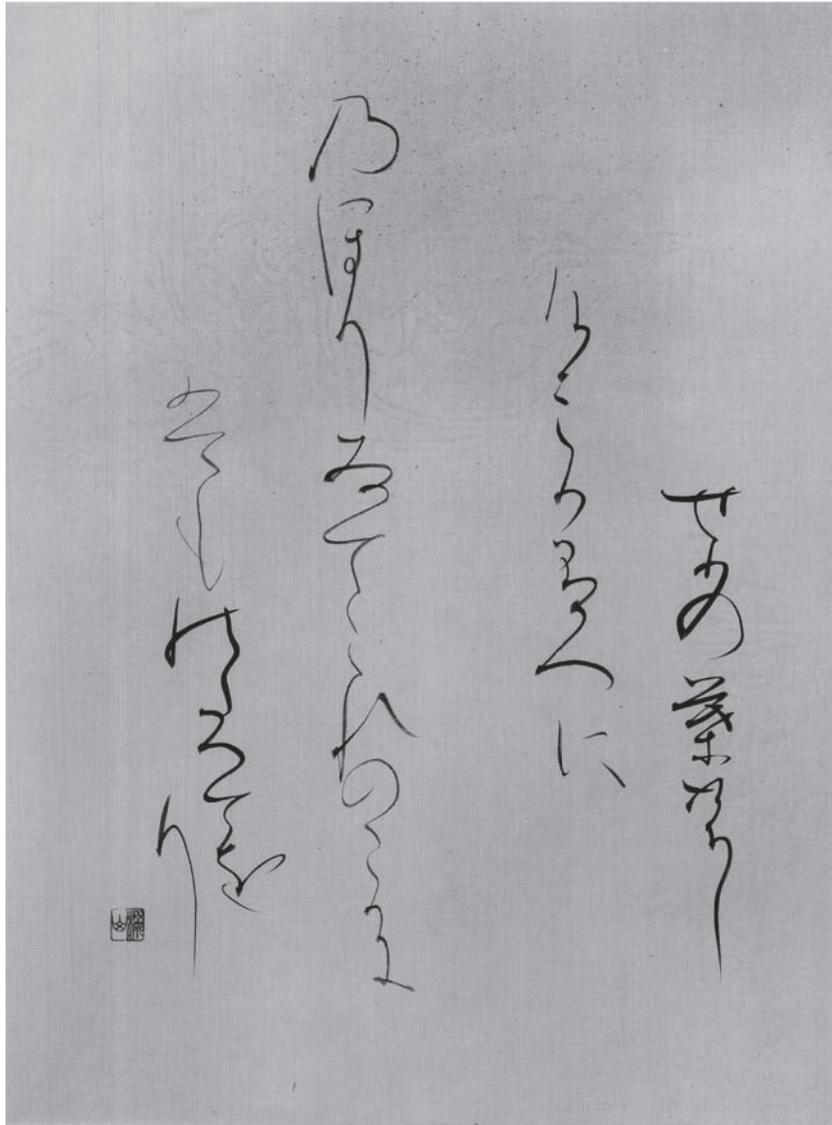
新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

〔読み〕さえんえいじつかんぼ茶煙永日香し  
〔大意〕茶の煙のよい香りが朝から夕までたえない

# 一般部毛筆かな課題

締切り 5月24日(必着)



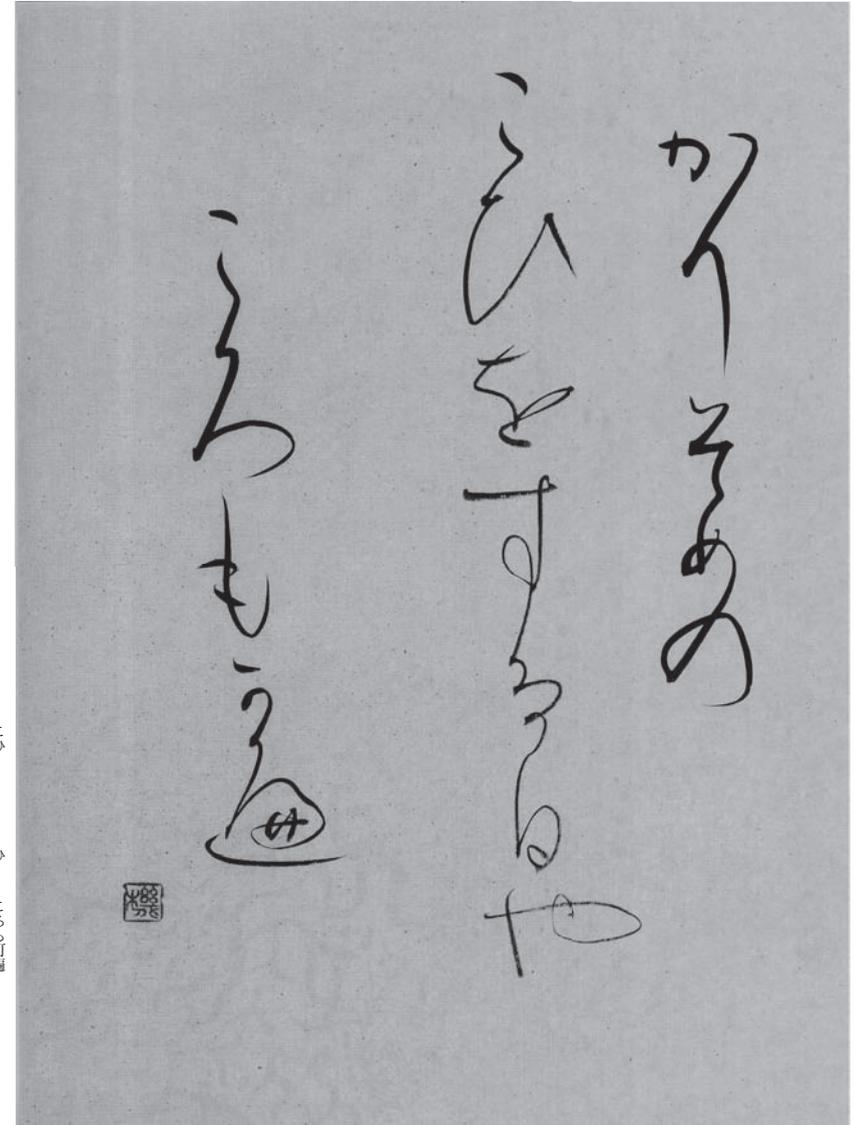
せり  
芹の葉の茂みがうへに登りあて  
この小蟹はものたべてをり

〔出典〕 若山牧水

〔歌意〕 芹の葉の茂みの上に登って、この小蟹は、なにかものを食べているよ。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



新入から1級まで

浅井機山先生書

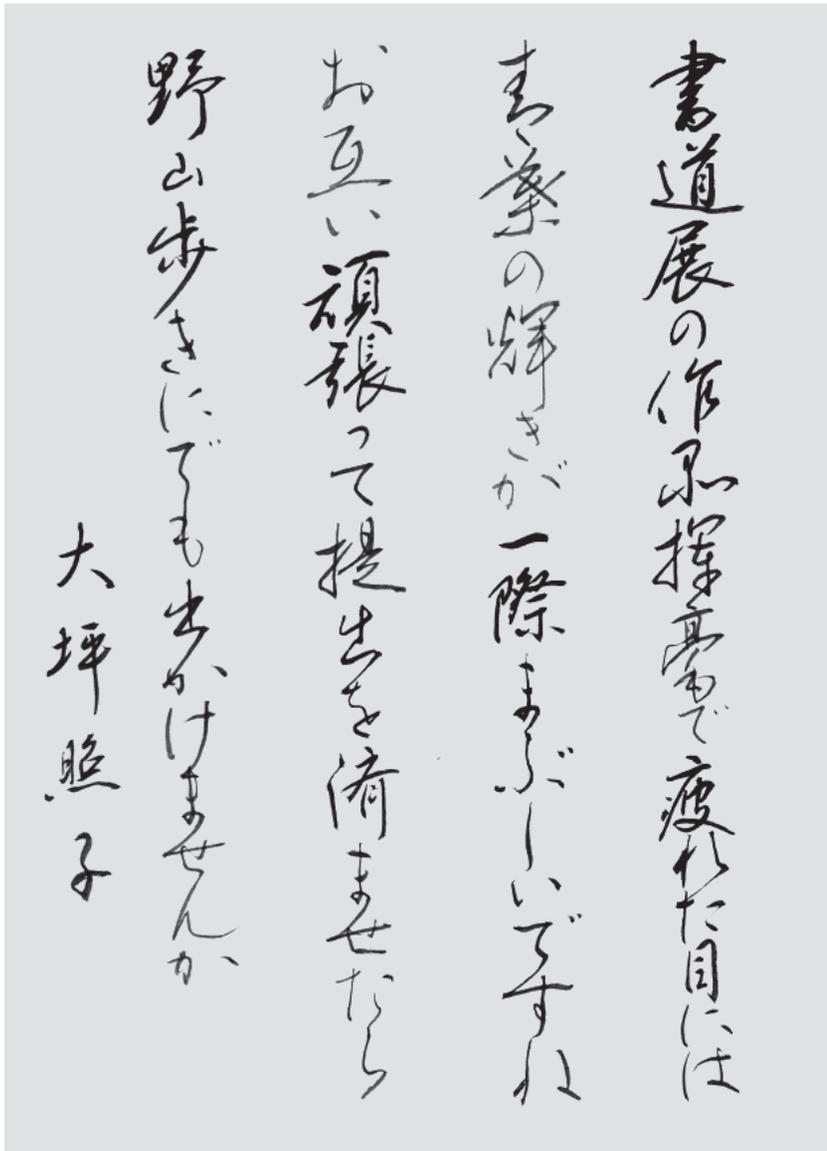
かりそめの恋をする日や更衣

〔出典〕 与謝蕪村

〔句意〕 綿入れから軽快な 袷あわせ に着更えてスッキリした気分になると、ふと誰かに恋でもしてみたいところがおこる。

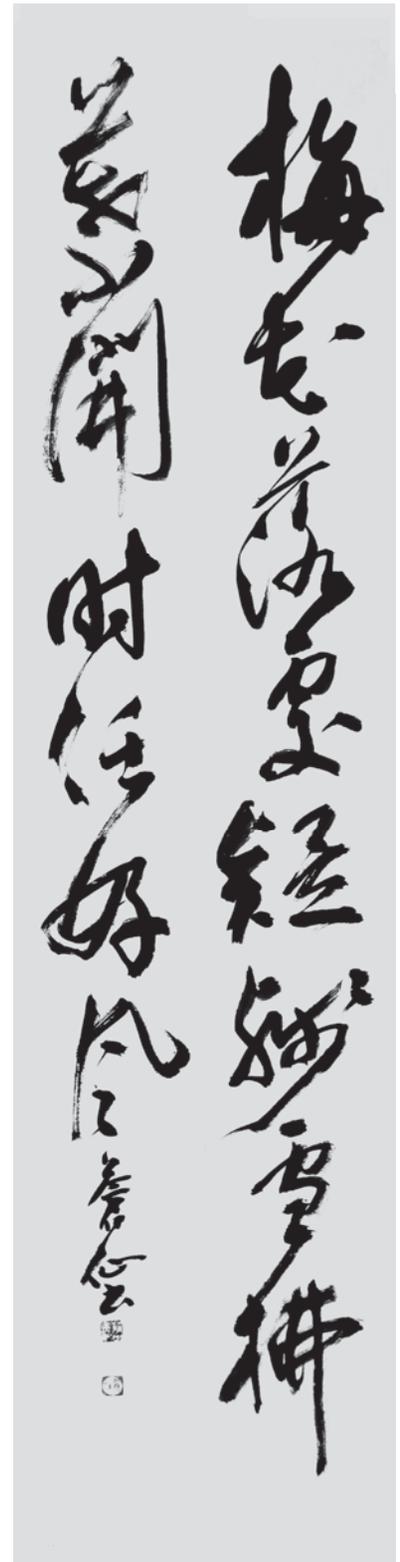
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 五月二十四日 (必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

ばい かがおつるところせんせつかとうたが、  
梅 花 落 處 疑 残 雪  
りゅうようひらくときしつうふうにまかせ  
柳 葉 開 時 任 好 風  
〔大意〕梅の花が散つた処は残雪がのこるかとも疑われ、柳の葉は好風にまかせて美しく伸びる。  
初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。

〔条幅解説〕初心者から上級者までの作例となると、毎月変化することもご理解下さい。従って五体字類等を使っての書体変換を、実力をつけるためにもお勧めします。その場合、実用書の整正美と異なり、均衡美と疎密の大切さも心してください。

書道展の作品揮毫で疲れた目には  
青葉の輝が一際まぶしいですね  
お互い頑張って提出を済ませたら  
野山歩きにでも出かけませんか  
(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

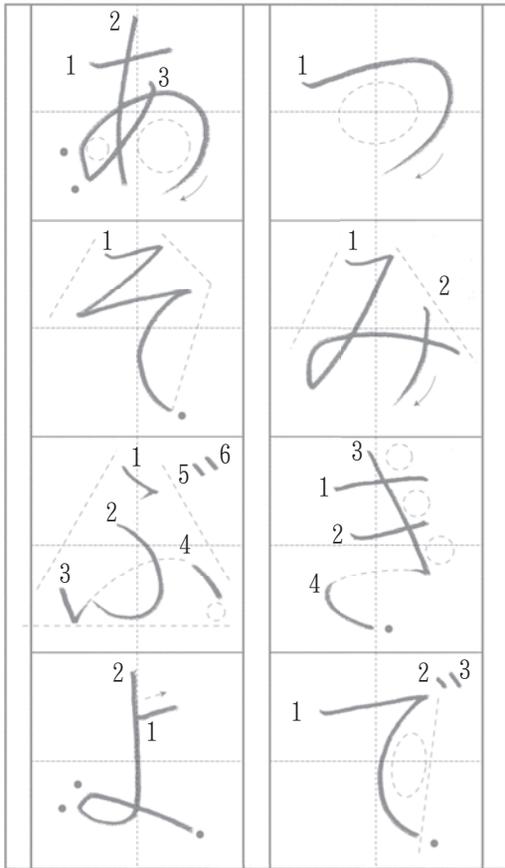
〔条幅・細字作品の出し方〕

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。

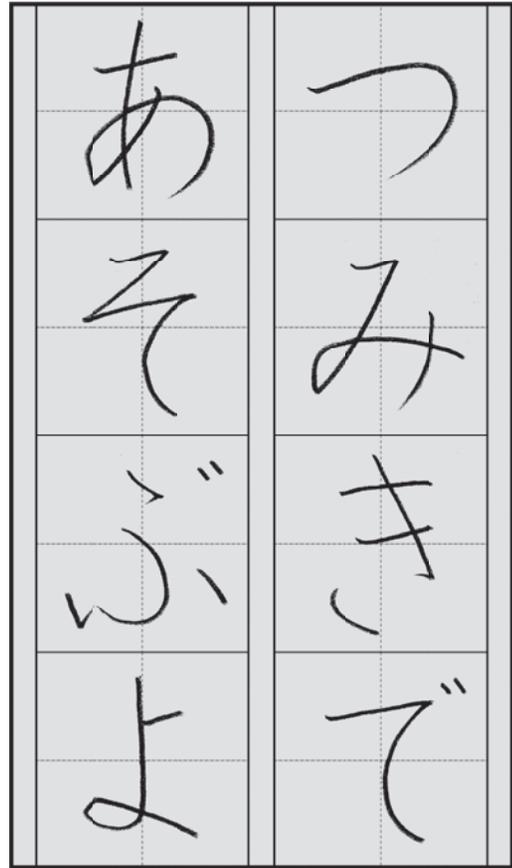
■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



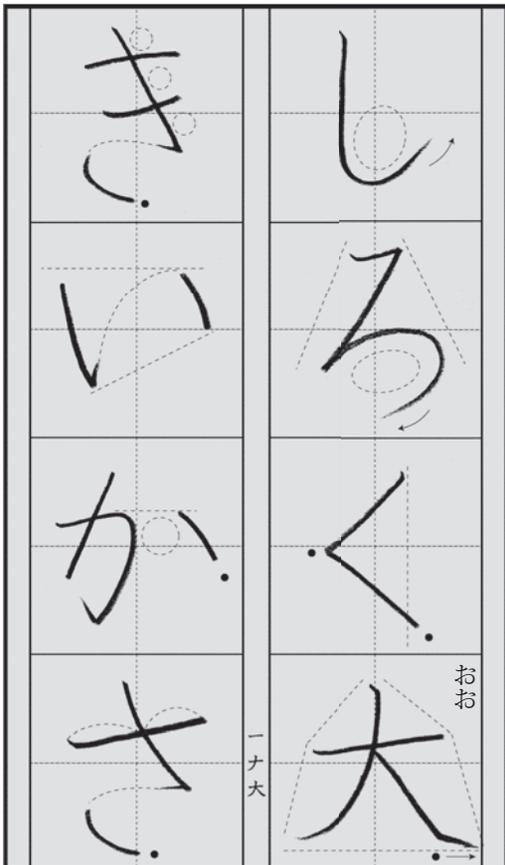
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



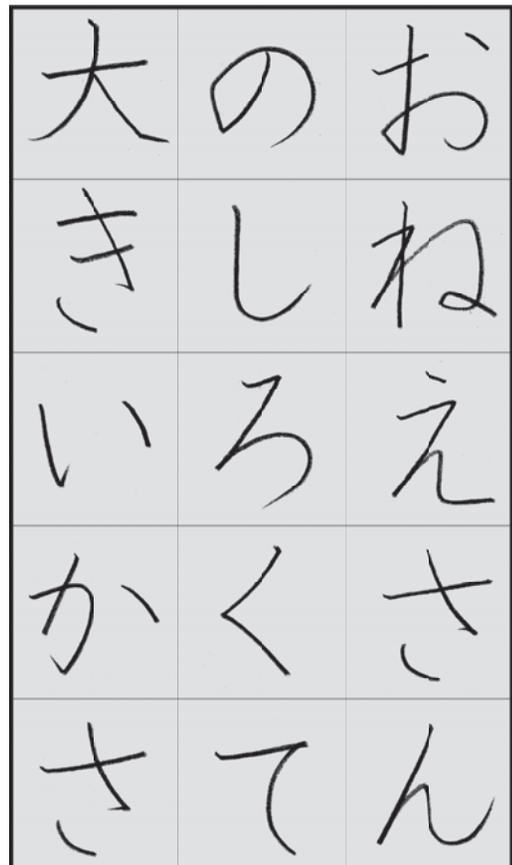
よ  
う  
年

幼年〜小三年まで  
三宅容玉書



新入〜1級

(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

な	十	ジユウ
わ	人	ニン
と	で	
び	長	なが

新入〜1級

わ	十	カ
と	人	を
び	で	合
す	長	わ
る	な	せ

準初段以上

小二年

準初段以上

あ	畑	はたけ
び	で	
育	日	ニツ
つ	光	コウ

新入〜1級

育	あ	畑
つ	び	で
野	て	日
さ	よ	光
い	く	を

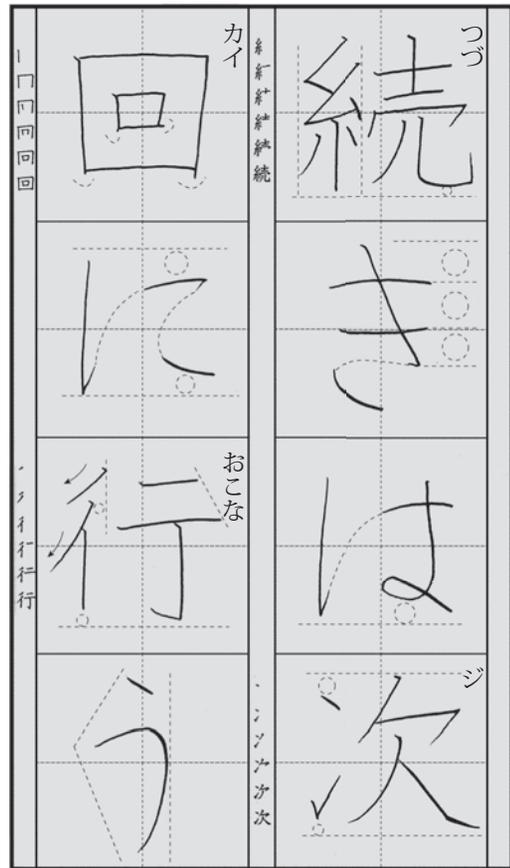
準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年



(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- \* 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- \* 六月縮切り分までは、この方法が続けます。
- \* ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- \* 七月縮切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

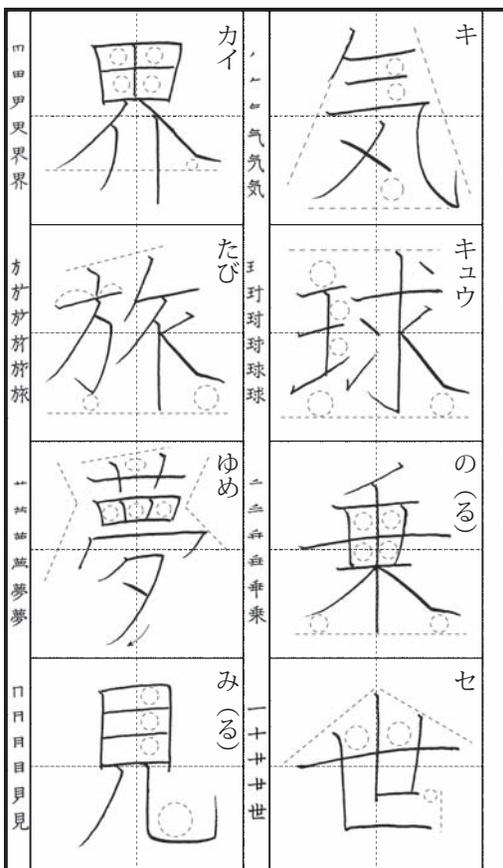
小五年



(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上

岡嶋桂川書

〈用具 自由(黒色に限る)〉

防	自
犯	動
装	点
備	灯

解説(よく見て習いましょう)

イ	す	自
ト	る	動
を	防	で
装	犯	点
備	ラ	灯

小六年

(全員)

く	の	多
感	恩	大
謝	恵	な
す	に	自
る	深	然

中二・三年

(楷書)

都	て	地
を	各	球
覚	国	儀
え	の	使
る	首	つ

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 さわ 澤 よし 幸 かず 寿 書

母 <small>はは</small>	カ	い	気 <small>き</small>	あ
に	ー	っ	持 <small>も</small>	り
お	ネ	し	ち	が
く	ー	よ	と	と
り	シ	に		う
ま	ヨ			の
す	ン			

◎お手本はえんぴつ使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
  - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
  - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
  - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
  - 一、成績は評価により毎月変わります。
  - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 5月24日(必着)

習っていない漢字は  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 にし 西 わき 脇 せい 聖 えん 園 書

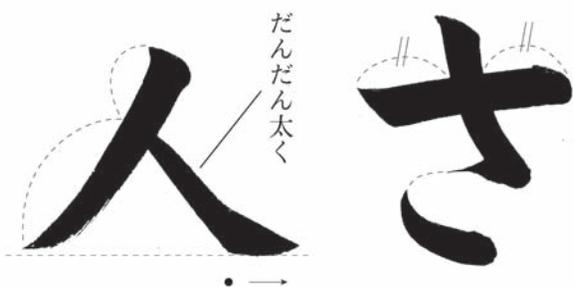
真 <small>ま</small>	制 <small>せい</small>	消 <small>しょう</small>	憧 <small>あこが</small>	職 <small>しよく</small>
近 <small>ちか</small>	服 <small>ふく</small>	防 <small>ぼう</small>	れ	場 <small>ば</small>
で	や	士 <small>し</small>	の	見 <small>けん</small>
見 <small>み</small>	防 <small>ぼう</small>	さ		学 <small>がく</small>
た	火 <small>か</small>	ん		で
	服 <small>ふく</small>	の		
	を			

◎お手本はつけペン使用





幼年よ年ねん〜し小せう二に年  
玉たま樹き小せう華か書





小三〜小五年

水野の香竹書

中二  
三

感謝

小六

自動

小六  
中二・三年

奥村暢之書

中心

都	自
感	動
謝	首

中一

首都

# 第106回 硬筆検定試験受験要項

5月24日締切り

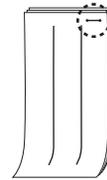
## ■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、五月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

## ■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を六月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成二十六年五月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十六年八月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) …… 一、〇〇〇円

規定 …… 一、二〇〇円

はがき・かな …… 一、六〇〇円

教育部 …… 六〇〇円

## ◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,000

▶かな……大宮春兆書

▶規定……奥村憲照先生書

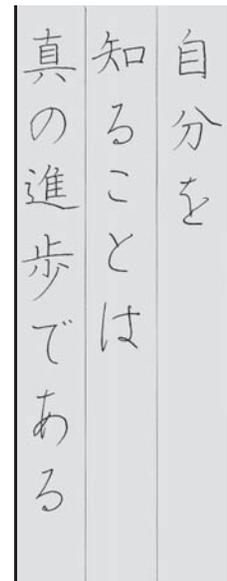
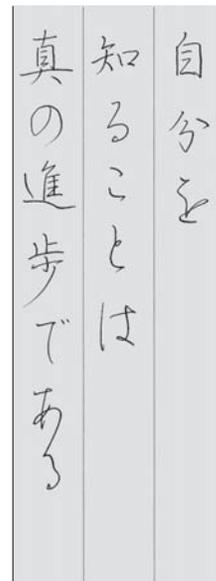
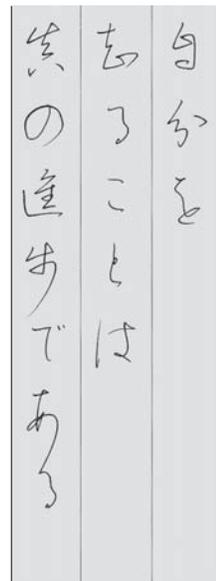
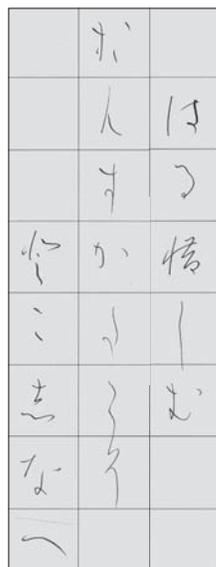
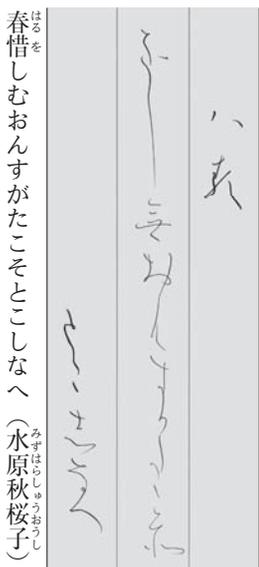
課題(ロ)  
段位用紙

課題(イ)  
級位用紙

《行草または草書》  
段位用紙

《行書》  
段位用紙

《楷書》  
段位用紙



◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

コース	課題	受験資格	最高昇級段位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
					楷書	行書	草書				
一般部	書範コース	・有段者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	2,800
	教範コース	・書範 ・支局・支部長	教範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,000
教育部	普通コース			5月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	400
	会友コース	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生		5月しめきりの月例競書課題と下記活字課題 ※筆記具は自由						2	700

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり  
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに  
単位を取得されていても、受験の際は改めて  
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除き  
ます。
- 一、単位合格は、二年以上上検定試験を受験しないと  
無効になります。

規定

書範・教範コース課題  
両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

音楽は人の心を  
穏やかに優しく  
道徳的にする

かな

- ▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
- ▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に  
ちらし書きにして下さい。  
山桜霞のころもあつく着て  
この春だにも風つつまなん(山家集)

はがき

両コース共通

五月晴れの空に勢いよくおどる  
こいのぼりを見上げて、茂夫が  
大喜びしています。初節句にと  
いただいたのがつい昨日のように  
思われますのに、早いものですね。  
一度ぜひお越し下さい。

(はがき用紙使用)

教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚  
用具⇒えんぴつ

小 1  
よ 左  
く と  
見 右  
て を

用具⇒えんぴつ

小 3  
で 品 お  
話 な 客  
さ こと 様  
れ ば が  
た ば 上

用具⇒鉛筆以外

小 4  
拳 委  
を 員  
行 の  
う 選

用具⇒鉛筆以外

中 3  
す 居 見  
目 て え  
白 花 か  
か こ く  
な ぼ れ

(注)氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。  
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

- 四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
- ※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
- ※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

- ▼五月締切りの自分の学年の月例課題一枚
- ▼左の活字課題の行書一枚
- 計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具⇒自由

時	が	文
代	作	学
を	ら	は
反	れ	そ
映	た	れ

(行書)

# 第66回 毛筆検定試験受験要項

6月24日締切り

## ■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

## ■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成二十六年六月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十六年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、〇〇〇円  
細字・かな …… 一、五〇〇円

・活字課題 五段コース以上  
会友コース以上

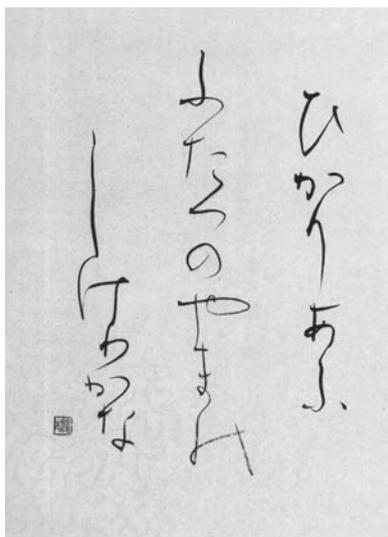
漢字半紙 …… 一、〇〇〇円  
細字半紙 …… 一、二〇〇円  
漢字幅 …… 一、五〇〇円  
細字幅 …… 三、五〇〇円  
教育部 …… 一、七〇〇円  
…… …… 八〇〇円

## ◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	20ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,000

## 〔1級コース課題〕

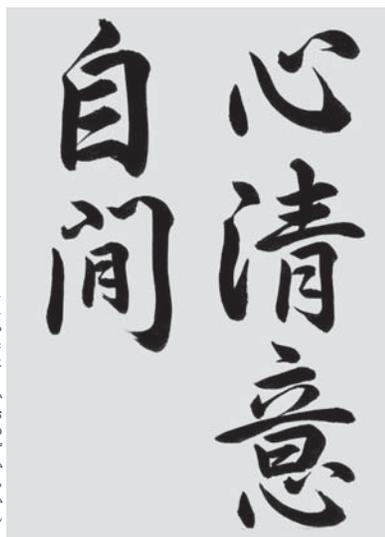
《かな》



ひかりあふ二つの山の茂りかな (向井去来)

浅井機山先生書

《行書》



心清意自間

須田一葉書

《楷書》



コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	4,000
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000
教育部	普通コース	—	6月しめきりの月例競書課題									1	400
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	700

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

**五段・書範・教範コース受験のきまり**

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
- 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

**五段・書範・教範コース課題**

**漢字**

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

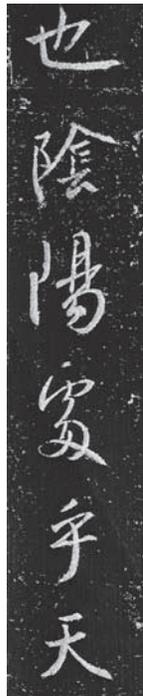
▼孔子廟堂碑

可得言焉自肇



▼集字聖教序

也陰陽處乎天



▼書譜

夫自古之善書



**かな** 三段コース以上共通(半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。  
◎夏と秋と行きかふ空の通ひ路は  
かたへ涼しき風や吹くらむ(凡河内躬恒)

※20頁参照

**条幅** 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

花影忽生知月到  
竹梢微響覚風来

**細字** 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

この度は部長様にまでお心遣いをいただき恐縮に存じます。娘には心のやさしい人に育ってほしいと願い「優子」と名付けました

**教育部手本課題** 教範コースのみ(半紙)

小1 あさ  
小6 予想的

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。  
(小1年はひらがなで書くなど)

**会友コース課題**

家庭

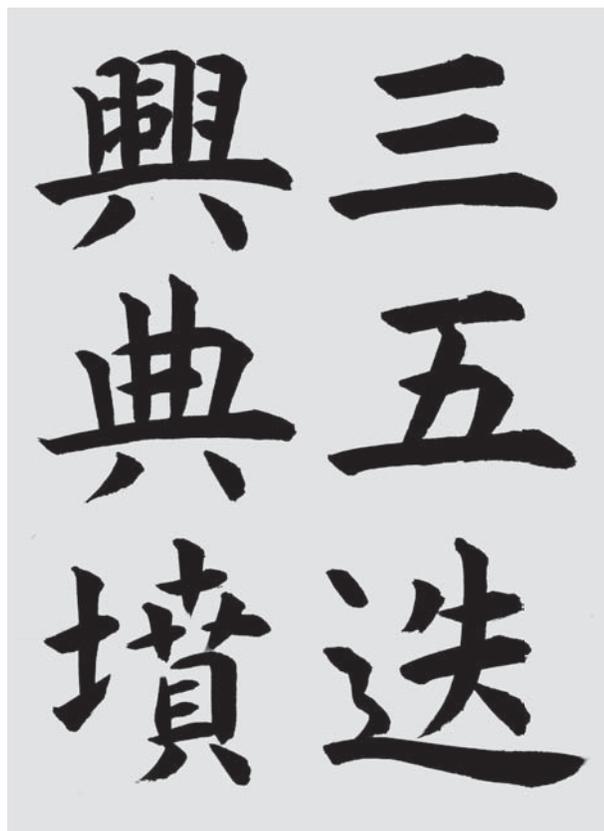
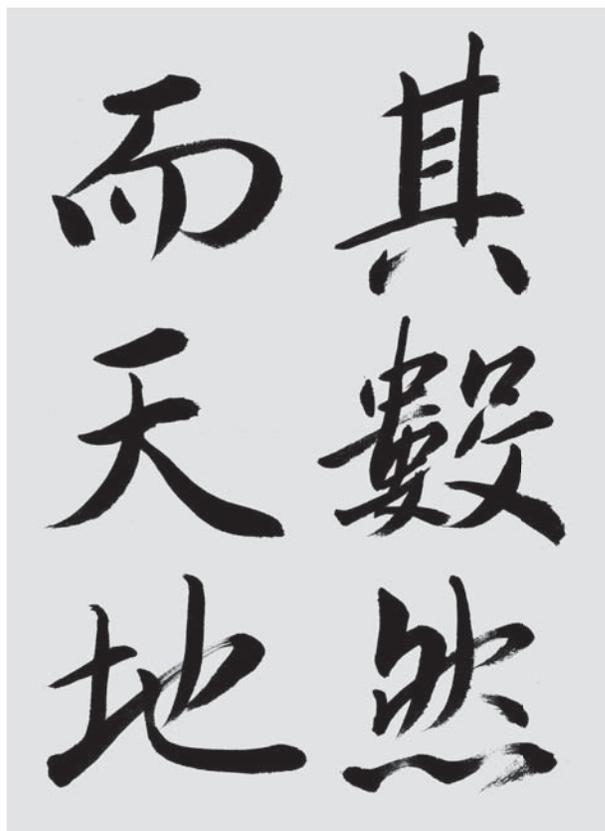
(行書)

▼六月締切りの自分の学年の月例課題一枚  
▼上の語句の行書一枚  
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



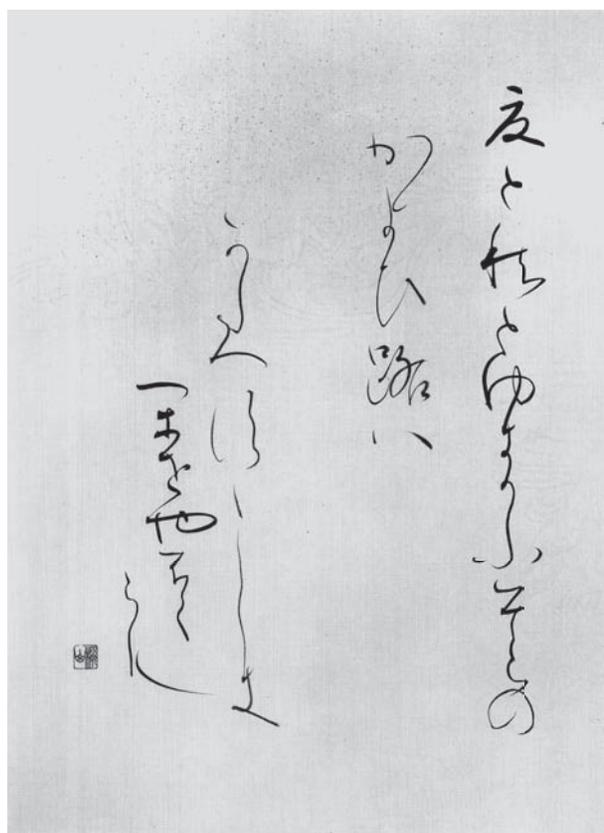
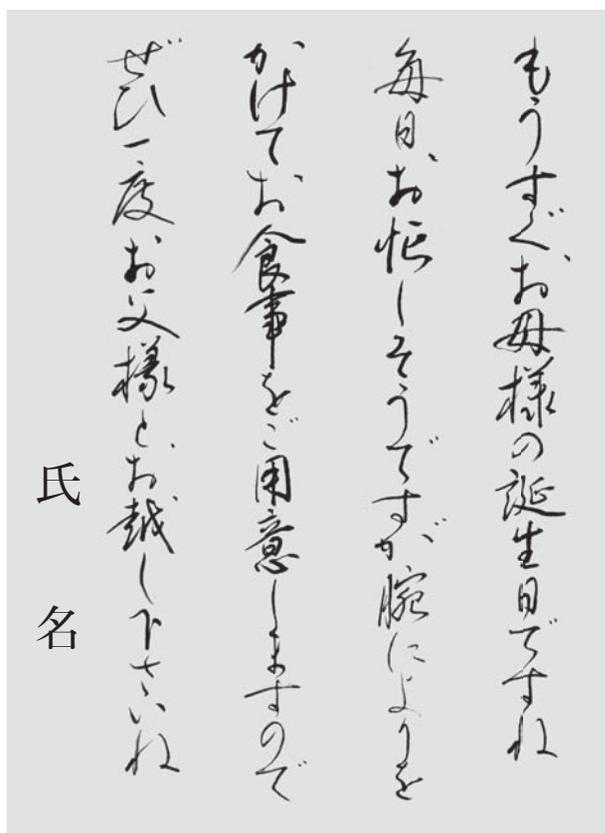
其數然而天地

三五迭興典墳

神谷葵水先生臨

《細字》

《かな》



氏名

夏と秋と行きかふ空の通ひ路は  
かたへ涼しき風や吹くらむ  
(凡河内躬恒)

樋田玲華書

浅井機山先生書

※かな・細字課題は六月の月例課題を兼ねます。